

仕様書

1 委託業務名

令和7年度おおい町FCVカーシェアリング実証調査業務委託

2 委託期間

契約締結日から令和8年3月19日（木）

3 業務目的

おおい町内の水素製造・供給実証施設（以下、「水素施設」という。）で製造する水素の活用方法として、観光客や町内在住者向けの町内二次交通の充実を目的とした燃料電池車（以下「FCV」という。）のカーシェアリング事業モデルを実施するにあたり、①FCVカーシェアリングの実施、②①に伴う効果検証調査、③FCV普及啓発イベントの企画、運営を実施するものである。

なお、①については事前に町の承認を得たうえで別の事業者にも再委託することも可能とする。

4 業務内容

(1) 計画準備

業務着手後速やかに業務の実施に際し必要な計画(年間スケジュール等)及び準備等を行い、業務計画書を作成するものとする。

(2) FCVの調達

本事業に必要なFCVを調達する。なお、本事業実施のために新たにFCVを借用する場合は本事業の委託料には上記委託期間の範囲内で別途町が定めた期間の使用料のみを含めるものとし、新たにFCVを購入する場合は本事業の委託料には別途町が定める方法で算定した購入費の一部のみを含めるものとする。

また、調達するFCVは自動車保険（任意保険・自賠責保険の両方）に加入している車両とすること。

(3) FCVカーシェアリングの実施

おおい町内においてFCVカーシェアリングを実施する。なお、実施範囲や料金体系、実施期間等については、事前に町と協議して決定するものとするが、令和7年9月頃からの実施を想定している。

なお、実施期間中は安全で快適な車両を保つため関係法令に基づく保守点検及び清掃を行い、運転免許を保有している者だけが利用できるシステムや運用方法を導入すること。

また、利用者からの苦情・問い合わせや事故等の緊急事態に対応できる体制を

構築すること。

(4) 利用者満足度調査

FCVカーシェアリング利用者を対象に、現行サービスの使い勝手や料金設定、車両の品質等に関する利用者アンケートを実施する。アンケート結果を通じて課題や要望等を把握する。

(5) FCV普及啓発イベントの開催

FCVの認知度向上と利用促進を目的とし、一般市民や事業者向けに普及啓発イベントを実施する。なお、イベントの内容や回数、イベントに伴って製作する広報物等については、事前に町と協議して決定するものとする。

(6) 利用状況等を踏まえた採算性の分析および改善提案

(4)(5)に基づき、おおい町内で今後FCVカーシェアリング事業を継続していく上での採算性を分析し、利用促進策や運営効率化のアイデア等を提案する。なお、当該提案を採用した場合の収益改善効果についても可能な限り具体的に示すこと。

(7) 地域へ及ぼす影響の分析

FCVカーシェアリング事業の継続による環境負荷軽減や交通利便性向上、周辺経済への波及効果等について分析し、地域住民への寄与や事業の社会的意義、持続的発展の可能性について報告する。

(8) 業務報告書のとりまとめ

(1)～(7)について整理し、業務報告書としてとりまとめる。

(9) 打合せ協議

打合せ協議は業務着手時、中間時1回、成果品納入時の計3回を想定するが、必要に応じて適宜実施する。

5 成果品の提出

- ① 業務報告書（紙媒体で、概要版および詳細版1部ずつ）
- ②①のデータを格納した電磁的記録媒体（CD-R等）

6 留意事項

- ・町と十分に打合せし、その指示に従って業務を進めること。
- ・業務期間中に適宜中間報告を求めることがある。
- ・「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」において示された水素・アンモニア供給拠点の形成に向けて、関係会議等において本業務の内容・結果を公表する場合がある。

7 水素施設の主な仕様、設置予定箇所、想定水素消費量

- ・ オンサイト方式による小型水素ステーション（定置式）
- ・ 70MPa の燃料電池自動車に 3kg（約 34Nm³）の水素を 10 分程度で充填する供給能力
- ・ 製造能力 0.83kg/h（月 21 日×9 時間稼働で約 1,750Nm³/月の製造可能）
- ・ 屋外設置のため防水保護性能を有する。
- ・ その他、仕様詳細は下表のとおり。

【仕様詳細】

	項目	仕様および特記事項
①	Simple Fuel 本体	型式：SFF70-20 純水水電解水素発生器（PEM 型） 一式 ※ディスペンサー及び圧縮機と共に一つの筐体へ配置 ※1 日最大製造量 225N m ³ /日（20 kg/日=0.83 kg/h） 圧縮機 ダイアフラム式圧縮機 一式 圧力：2～82MPaG ディスペンサー シングルタイプ 一式 圧力：70MPa クラス 最高充填圧力：JPEC-S 0003（2016）準拠
②	蓄圧器ユニット	150L/本×4 本（タイプⅢ）82MPa
③	制御盤	動力制御盤 一式 監視装置 一式 ガス検知警報器、火災検知器、地震計 一式
④	プレクーラー	冷凍機 一式 冷凍能力：3.7/4.4kW
⑤	純水装置	処理流量：MAX400L/h 送水ポンプ：MAX4.6/min
⑥	計量空気設備	計装用 Air コンプレッサー 一式
⑦	カードル充填制御盤	圧力、流量コントロールユニット 供給圧：19.6MPa
⑧	キュービクル	高圧受電設備
⑨	散水設備	供給水量：30L/min 以上 方式：上下水道から水噴霧装置または散水装置等に直接供給する設備装置 供給圧力：0.2～0.5MPaG
⑩	管理事務所	警報受信盤設置

【水素施設の設置箇所】



【想定水素消費量（1か月あたり）】

用途（案）	想定消費量（月）	備考
FCV	170Nm ³	走行距離：1,500km/月・台※

※国交省「レンタカー平均走行距離（年平均1.8万km）」から算出

なお、上記は目安であり、実際の消費量は必ずしもこれに制限されない。